



関連・協力会社代表者殿

健康管理の徹底 と 管理者との連携 について

今年度に入り、千代田グループ内の乗務員3名の方が仕事中に急病を発症し、緊急搬送され、2名の方が亡くなるという、誠に残念な事案が発生いたしました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

各管理者の方は、所属乗務員の健康管理に関し、更なる高い意識を持って対応していただくと共に各乗務員の方々は自己管理を徹底していただき、体調に異変を感じた場合は、管理者に速報するなど相互の連携を密にし、早期に医療機関で受診するようお願いいたします。

○ 健康状態に起因した事故のうち脳と心臓の病気が4割を超えています

国交省が調査したプロドライバーの健康状態に起因した事故の内容を見ると、**脳と心臓の病気による事故が約43%**を占めています。

具体的な病名をみると、脳内出血や心筋梗塞等が占める割合が高く、運転中に突然脳や心臓に負担がかかり、健康状態が悪化して事故に至ったものと考えられます。

○ 生活習慣病を改善しよう！

「血圧が高い」「コレステロールが多い」「血糖値が増えた」「お腹周りが大きくなった」と健康診断で指摘された時、「まだ病気ではないから大丈夫」と考えないでください。

何もしなければ血液が次第にドロドロになり、血管が詰まって、**突然意識障害に陥る**危険性があります。

○ 健康診断を受ける

高血圧や脂質異常、糖尿病、内臓肥満型の肥満は自覚症状がないまま進行します。**必ず定期的に健康診断を受け**、医師や保健師の指導を守りましょう。

● まとめ

自動車安全運転センターが行った、貨物トラックドライバーへのケート調査によると、50歳未満のドライバーが高血圧になっている割合は3.6%でしたが、50歳以上のドライバーが高血圧になっている割合は、なんと24.3%でした。

高血圧、血中のコレステロールや糖分の過多、肥満は健康を害するだけでなく、運転中に突然体調を崩して事故を引き起こす要因となります。**生活習慣を改善し、病気や事故を予防**しましょう。

